

横浜国際協力センター30周年記念イベントを開催します！

～横浜から未来へ 国際協力センターがつなぐ国際協力の輪～

横浜市は1991年の横浜国際協力センター（以下センター）の開設以降、地球規模の課題解決に取り組む国際機関等を支援し、連携して国際協力を進めてきました。今年、センターの開設より30周年を迎えます。各入居機関のこれまでの取組に感謝するとともに、更なる連携が進むよう、「横浜から未来へ 国際協力センターがつなぐ国際協力の輪」と題し、記念イベントを行います。本イベントは市民や企業の皆様にもオンラインで配信します。

1. 開催日時・会場

令和3年7月20日（火）14：00～

Y-PORTセンター公民連携オフィス GALERIO（ガレリオ）

（横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号 横浜国際協力センター6階）

2. 主な参加者

入居機関関係者、外務省関係者、国際連合関係者、横浜市関係者 等

3. 参加方法

開始時間になりましたら以下のURLよりご参加ください。

<https://yport.city.yokohama.lg.jp/archives/1699>

後日、イベント動画をウェブサイトで公開します。



4. プログラム

時間	内容	詳細
14：00	【オンライン配信】 主催者 および 来賓挨拶	<ul style="list-style-type: none"> ●主催者挨拶 横浜市副市長 林琢己 ●横浜市会挨拶 横浜市会副議長 高橋正治議員 ●外務省挨拶 外務大臣政務官 中西哲氏（ビデオメッセージ） ●国際連合挨拶 国連世界食糧計画（WFP）事務局次長 ウテ・クラマート氏（ビデオメッセージ） ●アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）卒業生 米国国務省外交通訳者 レフテリ・カファト氏（ビデオメッセージ）
14：30	【オンライン配信】 入居機関 セッション	<ul style="list-style-type: none"> ●国際熱帯木材機関（ITTO） ●アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC） ●国連世界食糧計画（WFP）日本事務所（ビデオメッセージ） ●国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所 ●横浜市国際交流協会（YOKE） ●シティネット横浜プロジェクトオフィス（CYO） ●国際農業開発基金（IFAD）（ビデオメッセージ）
15：00	内覧会	Y-PORTセンター公民連携オフィスGALERIO内覧会

5. 取材について

当日取材をご希望の方は、7月15日（木）までに、ki-ioc@city.yokohama.jpあて、①～④をご連絡ください。①貴社名②代表者お名前・電話番号③人数④撮影の種類（例：ムービー、スチール撮影等）

■会場アクセス <https://yport.city.yokohama.lg.jp/inquiry#access>



裏面あり

お問合せ先	
国際局国際協力課長	佐藤 亮太郎 Tel 045-671-2078

◆主な来賓について



国連世界食糧計画（WFP）事務局次長

ウテ・クラマート氏

2019年2月、WFP 国連世界食糧計画のパートナーシップ&アドボカシー担当事務局次長に就任。政府、国連機関、民間セクター、その他のパートナーとの組織のパートナーシップと資金調達活動を統括。

※国連世界食糧計画（WFP）

「飢餓と闘う努力、紛争影響下の地域における平和実現の条件改善への貢献、飢餓が戦争や紛争の武器として利用されないための努力」を評価されノーベル平和賞受賞



アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）卒業生

米国国務省外交通訳者 レフテリ・カファト氏

ハワイ大学卒業後、2001-2002年にアメリカ・カナダ大学連合日本研究センターで学ぶ。その後モンテレー国際大学院を卒業し、2016年より米国国務省にて Diplomatic Interpreter（外交通訳）として活躍中。

※2016年にオバマ米国大統領（当時）が現職大統領として初めて被爆地・広島を訪問した際には大統領付き外交通訳者として活躍

◆登壇予定の横浜国際協力センター入居機関について

機関名		概要
国際熱帯木材機関（ITTO）		熱帯林資源の保全と持続可能な経営、利用、そして持続的かつ合法的に管理された熱帯木材資源の貿易拡大と多角化を促進している政府間組織。
アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）		主に北米の大学生・大学院生などを対象に、中・上級日本語の集中教育を行う日本語教育・研究機関。
国連世界食糧計画（WFP）日本事務所		イタリア・ローマの国連世界食糧計画本部と日本政府との連絡・調整業務、企業や各種団体・NGOとの協力関係の推進、および広報活動を行う。
国際連合食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所		日本政府との連絡調整を行うほか、世界の食料安全保障や栄養改善、飢餓・貧困撲滅などの問題について、より理解を深められるよう広報活動を行う。
（公財）横浜市国際交流協会（YOKE）		横浜の国際都市としての発展に寄与することを目的として、多文化共生のまちづくりや国際協力・交流活動を推進する事業を行う。
シティネット横浜プロジェクトオフィス（CYO）		アジア太平洋地域の都市問題の改善・解決を目指す非営利の国際組織。アジア太平洋地域の都市が直面する都市問題にソリューションを提供。
国際農業開発基金（IFAD）日本連絡事務所		1977年設立の国連専門機関。主にアフリカ、アジア等の開発途上国に対し、融資や無償資金供与を通して、持続可能な農業開発を促進・支援する。 ※令和3年度入居予定



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【Y-PORT センター公民連携オフィス「GALERIO」について】

国内外の関係者との会議やセミナー等を開催し、横浜の都市づくりの実績や強みを紹介するため、通信機能やVRコンテンツを備えた情報発信拠点を、Y-PORT センターの活動拠点である公民連携オフィスに整備しました。

